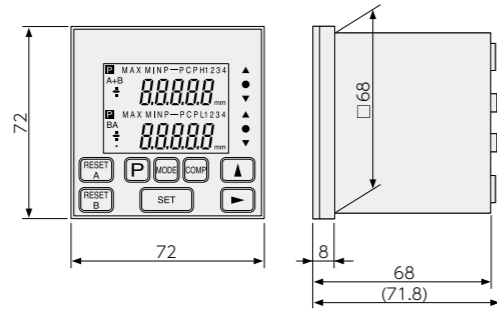


LT LT10Aシリーズ(DT12/32用)



- 出力 BCD
- 出力 RS-232C
- 出力 合否判定

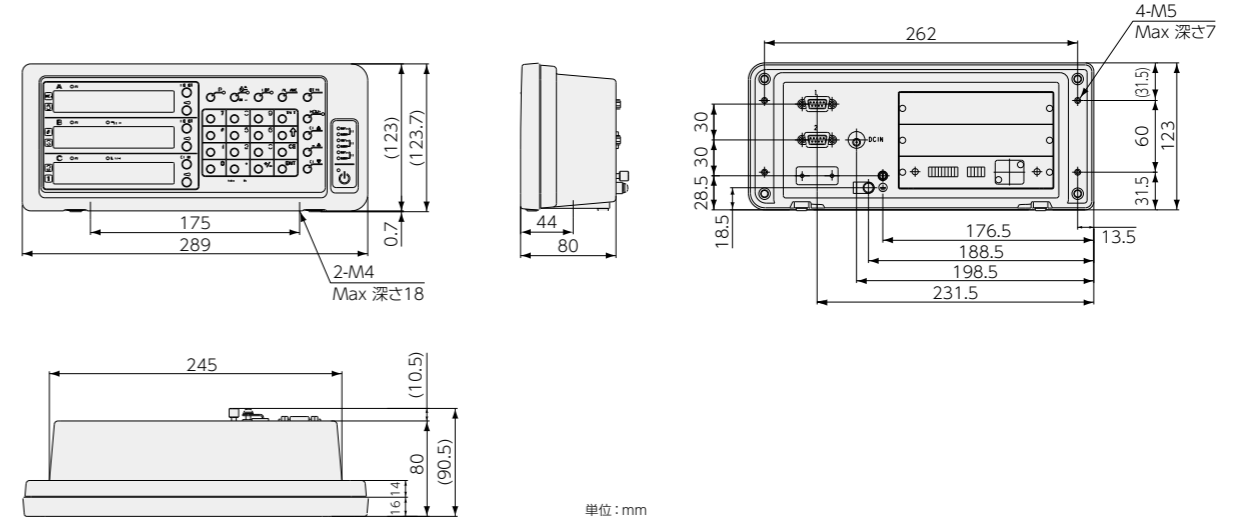


単位: mm

LY LY71



- 出力 BCD
- 出力 合否判定



単位: mm

機種名	LT10A-105	LT10A-105B (BCD出力モデル)	LT10A-105C (RS-232C入出力モデル)	LT10A-205	LT10A-205B (BCD出力モデル)	LT10A-205C (RS-232C入出力モデル)
入力軸数	DT12/32シリーズのゲージが接続可能					
入力分解能	1軸			2軸		
表示軸数	1軸			2軸		
表示データ	現在値、最大値、最小値、P-P値 (=最大値-最小値) (パラメータ設定で選択)			各軸の現在値、最大値、最小値、P-P値 (=最大値-最小値) または、A軸表示: 2軸加減算の現在値、最大値、最小値、P-P値 (=最大値-最小値) B軸表示: 単軸 (1軸目、または2軸目) (2軸加減算表示設定時の注意: 単軸の表示はモニタ表示のみで操作は不可) (パラメータ設定で選択)		
表示分解能	各軸とも入力分解能と同じ分解能					
ディレクション	各軸、パラメータによる極性の設定					
アラーム表示	測長ユニット未接続、速度超過、表示桁オーバーフロー					
和差機能	-			2軸の加減算表示が可能 ただし、加減算時はA軸表示に加減算値表示、B軸表示には、1軸目または2軸目入力モニタ表示させることのみ可能 B軸表示 (モニタ表示) に表示値に対する操作は不可		
ピークホールド機能	ピーク演算 (最大値、最小値、P-P値) が可能			各軸または加減算値のピーク演算可能 (ただし、2軸加減算時は、B軸表示に1軸目または2軸目の表示のみ可能)		
リスタート	ピークホールド演算の開始 操作は外部入力			各軸のピークホールド演算の開始 操作は外部入力 (軸ごと)		
ホールド機能 (ラッチ・ポーズ)	ラッチ=表示および出力のホールド ポーズ=ピーク演算のホールド					
コンパレータ機能	1組の上限度下限値が設定可能	4組の上限度下限値が設定可能 組の切替はBCDコネクタから実行	1組の上限度下限値が設定可能	各軸とも1組の上限度下限値が設定可能 ただし、加減算時は単軸の設定は不可	各軸とも4組の上限度下限値が設定可能 ただし、加減算時は単軸の設定は不可 組の切替はBCDコネクタから実行	各軸とも1組の上限度下限値が設定可能 ただし、加減算時は単軸の設定は不可
入力信号	各軸のリセットおよび、各軸のスタート/ラッチおよび、ポーズ					
出力信号	各軸のコンパレータの判定出力					
コンパレータ判定出力	NPNオープンコレクタ出力					
BCD出力	-	現在値、および、ピーク値 (最大値、最小値、P-P値) が出力可能	-	-	各軸別に現在値、および、ピーク値 (最大値、最小値、P-P値) が出力可能	-
RS-232C入出力	-	-	RS-232Cコマンドにより、各機能をキー操作の代わりに実行可能 RS-232Cのデータ出力コマンドにより現在値、最大値、最小値、P-P値が出力可能	-	-	RS-232Cコマンドにより、各機能をキー操作の代わりに実行可能 RS-232Cのデータ出力コマンドにより現在値、最大値、最小値、P-P値が出力可能
リセット	キー操作および、外部リセット入力で、リセット可能					
プリセット	キー操作	-	キー操作 RS-232C経由のコマンド	キー操作	-	キー操作 RS-232C経由のコマンド
マスター合わせ機能	-					
原点機能	-					
キーロック機能	○					
電源	DC9~26.4 V					
消費電力	1.8 W	2.9 W	2.0 W	2.3 W	4.0 W	2.5 W
使用温度範囲	0~40 °C					
保存温度範囲	-10~50 °C					
質量	約200 g	約230 g	約220 g	約210 g	約270 g	約230 g

機種名	LY71
適合測長ユニット	DKシリーズ (要接続ケーブルCE29) GB-ERシリーズ (マグネスケール) / PL20Cシリーズ (デジルーラ)
入力軸数	1軸または、2軸 (パラメータ設定による)
入力分解能	直線標準: 0.1/0.5/1/5/10 μm, (直線拡張: 0.05/2/20/25/50/100 μm) 角度: 1s/10s/1min/10min, (角度拡張: 1 degree)
表示軸数	3軸 (A軸、B軸、C軸) LZ71-KR使用時: 1軸 (A軸表示) のみ B軸、C軸表示はコンパレータ値表示に固定
表示データ	各軸の現在値、最大値、最小値、P-P値 (=最大値-最小値) または、2軸加減算の現在値、最大値、最小値、P-P値 (=最大値-最小値) 表示する軸の設定はパラメータにて設定 表示するデータ (現在値、最大値...) はキー操作で切替可能 (LZ71-B 2枚使用時は加減算表示は不可)
表示分解能	測長ユニット入力分解能以上 デジルーラを円弧に貼り、簡易角度表示させることも可能 (但し、半径の大きさにより表示できる分解能には制限あり)
ディレクション	各軸、パラメータによる極性の設定
アラーム表示	測長ユニット未接続、速度超過、表示桁オーバーフロー
和差機能	2軸加減算可能 但し、加減算時は各軸ごとの演算は不可 (LZ71-B 2枚使用時は加減算表示は不可)
ピークホールド機能	各軸または加減算値のピーク演算可能 (加減算時は各軸 (単軸) の演算は不可)
リスタート	各軸/全軸のピークホールド演算の開始 操作はキー操作または外部汎用入力
ホールド機能 (ラッチ・ポーズ)	ラッチ機能またはポーズ機能 (パラメータ設定により選択) 操作: キー操作または外部汎用入力
コンパレータ機能	LZ71-KR使用時のみ可能 (5領域に選別) 1軸または、加減算値に対して1~4つの設定値を1組として、16組の設定が可能 但し、加減算時は単軸の設定は不可 (組の切替はキー操作またはLZ71-KRの外部入力)
位置決め機能	LZ71-KR使用時のみ可能 設定値 (1点) を通過した時、0.5sのパルス信号を出力 16組の設定値が設定可能 コンパレータ機能選択時は使用不可 (パラメータ設定によりコンパレータ/位置決め選択)
入力信号	各軸ごとに外部リセット、外部プリセットリコール (計4) 各軸ごと汎用入力1つ、共通1つ (計3) 汎用入力はホールド、リスタート、表示切替 (現在値とピーク値の切替)、原点ロード (基準値の再現開始) から3つ選択 入力回路: +12~24 Vのフォトカプラ (内部回路と絶縁=要電源Vcc=12~24V)
出力信号	汎用出力 (アラーム、表示データ (現在値orピーク値)、原点通過、原点アラーム、ゼロ点通過) から2つ選択 出力回路: オープンコレクタ (フォトカプラ) 12~24V、内部回路と絶縁
コンパレータ判定出力	LZ71-KR使用時のみ可能 オープンコレクタ (フォトカプラ) 12~24V (内部回路と絶縁) および、リレー (DC24V/AC100V・0.3A、ON時間約2 ms、OFF時間約1 ms)
BCD出力	LZ71-B使用時のみ可能 1枚使用時: 1軸目、または2軸目、または加減算値の現在値およびピーク値 2枚使用時: 1軸目が1軸目の現在値およびピーク値、2軸目が2軸目の現在値およびピーク値 LZ71-B1枚で3種類まで出力可能
RS-232C入出力	-
A/B相出力	LZ71-HT01使用時のみ可能* 上段は1軸目の出力に固定 中段は2軸目出力に固定 *弊社営業までお問い合わせください
拡張ユニット	LZ71-KR、LZ71-B (2枚まで使用可能)
リセット	キー操作および、外部リセット入力で、リセット可能
プリセット	キー操作で値を設定可能 外部プリセットリコールで設定した値の呼び出しが可能
マスター合わせ機能	あり
基準点/原点機能	あり
キーロック機能	あり (設定有り無しをパラメータで設定)
データの保存	保存あり/無しを設定可能
スケールアップ機能	あり (0.100000~9.999999)
リニア補正	あり (±600 μm/1 mあたり)
電源	別売ACアダプタPSC-21/22/23使用
消費電力	最大32 VA (別売ACアダプタ使用時)
使用温度範囲	0~40 °C
保存温度範囲	-20~60 °C
質量	約1.5 kg